

【東京大学履歴書No.1記入上の注意点】

履歴書

住民票記載事項証明書、外国人登録証明書のとおり氏名を記載し、ふりがなを記載すること。ただし、カンマ(,)と半角アポストロフィ(')は使用不可。

は、ドロップダウンリストが設定されている。

平成 22 年 3 月 1 日 現在	
ふりがな	〇〇〇〇
氏名	〇〇〇
生年月日	昭和 47 年 1 月 1 日 (38 歳)
住所	〒111-1111 東京都〇〇区〇〇1-1-1
電話番号	(自宅) 03 - 1111 - 1111 (携帯) 090 - 1111 - 1111
メールアドレス	

写真貼付

作成日前6月以内に撮影した鮮明な写真(白黒・カラーどちらでも可、上半身、正面向、脱帽)

タテ 3.5 ~ 4.0
×
ヨコ 3.0 ~ 3.5

修了区分もドロップダウンリストで必ず選択すること。

高等学校	昭和 63 年 3 月	卒業又は退学年月(見込を含む。)を記入する。	学校等名称(学校、学科) 〇〇高等学校普通科	東京大学を卒業している場合「教養学部前期課程」の「修了」を必ず下記の例のとおり記載すること。	修了区分 卒業	当該課程が夜間又は通信課程である場合に限り、いずれかを記入する。
------	-------------	------------------------	---------------------------	--	------------	----------------------------------

大短 高等専門学校 専門学校等	昭和 63 年 4 月 ~ 平成 2 年 3 月	学校等名称(学校、学部、学科、コース) 東京大学教養学部理科Ⅲ類	省略せず全ての学歴を記入する。転・編入学した場合は学校等名称のあとに(〇年次転・編入)と記入する。休学期間がある場合は、学校等名称の後に改行して(休学平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日)と記入する。	修了区分 修了	夜間・通信
	平成 2 年 4 月 ~ 平成 6 年 3 月	東京大学医学部医学科		卒業	
	~				

大 学 院	平成 6 年 4 月 ~ 平成 9 年 3 月	〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇〇専攻修士課程 (休学 平成7年4月1日 ~ 平成8年3月31日)	パターン① 休学期間のある場合	修了区分 修了	取得単位数 (単位)
	3	〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇〇専攻博士課程	パターン② 修了見込である場合 ※「学位」の取得学校名欄に「(見込)」を記載すること。 なお、取得出来なかった場合には速やかに採用事務担当者に連絡すること。	修了見込	(単位)
			ドロップダウンから該当する区分を記入する。該当する区分がない場合は、「その他」を選択し、専攻分野欄に学位名称及び専攻分野を記入する。		

学 位	平成 9 年 3 月	修士	〇〇学	〇〇大学	例 修士(工学)を所持している場合は、「工学」と記入する。	短期大学や高等専門学校卒業後、単位累積加算制度等により学位授与機構から学士号を与えられた場合などは、「学士」情報を記載。 一般の大学を卒業した場合は、 学士号を記載しない。
	平成 22 年 3 月	博士	〇〇学	〇〇大学(見込)		

免 許 資 格 等 (免許等一覧記載のもの)	平成	「履歴書記入要領」の免許等一覧に記載されているものうち所有するものについて、取得年月日とともに必ず記入する。	名称 免許

「自動車運転免許」は「運転手」での採用の場合を除き記入しない。

免 許 資 格 等 (その他)				「履歴書記入要領」の免許等一覧に記載されているもの以外に所有する免許・試験・資格等のうち有用と思われるものについて、取得年月日及び認定機関名とともに記入する。	認定機関

特 記 事 項	短期間の語学留学や学校教育法上の専門学校・各種学校ではない学校(英会話学校など)の履歴で職務等の関連性があり特に記載する必要がある場合はこの欄に記載すること。
---------	---

【東京大学履歴書No.1記入上の注意点(平成22年4月1日採用の場合)】

別紙様式1 No.2

氏名 No.1に氏名を入力すると自動的に表示される

その他の期間(職歴等)							所属組織	所在地(市区町村名まで)	職名	職務・研究従事内容	勤務態様
年	月	～	年	月	(退職見込を含む)						
水色の箇所はドロップダウンリストが設定されているので、元号を選択すること。							民間会社等の場合は部課名等、研究機関等の場合は研究室等まで省略せず、正確に記入する。派遣社員等はカッコ内に派遣元に当たる組織を記入する。		所属組織等から通知された正式な職名又は職位を記入する。下記の他、准教授、特任研究員、看護師、主任、一般社員、契約社員、パートなど。	勤務態様欄には、正規職員である場合は”正規職員”と記入する。正規職員でない場合は、正規職員と同じ勤務態様の契約社員や派遣社員であっても、1週間あたりの所定労働時間数(残業時間は含まない)を記入する。研究生等は、研究従事時間又は授業時間数を記入する。	
教職員及び特定有期雇用教職員で採用される予定の者で、過去に、東京大学、他の国立大学法人、国家公務員、独立行政法人、地方公務員、公庫等職員で正規職員の経歴がある者については、履歴書No.2の記載方法が異なる場合があるので、履歴書作成前に採用事務担当者まで連絡すること。										職務・研究従事内容、勤務態様は必ず記載すること。空白は不可。 他の例:○○に関する研究の実験補助、経理に関する一般事務、国際交流に関するマネジメント等	
平成	6	6	～	平成	8	3	○○大学医学部附属病院内科	○○県○○市	医員(研修医)	内科において診療業務研修に従事	38.75H/W
平成	8	4	～	平成	9	3	医療法人○○会 ○○総合病院救命救急センター救急部	○○県○○市	医師	救急部において診療業務に従事	正規職員
平成	9	4	～	平成	10	3	○○県立○○病院第二内科	○○県○○市	医員	第二内科において診療業務に従事	40H/W
平成	16	4	～	平成	19	3	○○大学大学院○○研究科○○専攻○○分野 (日本学術振興会)	○○県○○市	日本学術振興会特別研究員	○○教授のもと、○○学に関する研究に従事	40H/W
平成	19	4	～	平成	19	4	○○大学大学院○○研究科○○専攻○○分野 研究生	○○県○○市	研究生、聴講生、特別研究学生等はこの欄は記載せず、所属組織に記載する。職名欄は、空白とする。	○○教授のもと、○○学に関する研究に従事	30H/W
平成	19	5	～	平成	20	12	○○大学大学院○○研究科○○専攻○○分野 (財団法人○○○○○○○より派遣)	東京都○○区	リサーチレジデント	○○教授のもと、○○学に関する研究に従事	35H/W
平成	21	10	～	平成	22	3	○○大学○○学部	東京都○○区	非常勤講師	「○○概論Ⅱ」「○○学」の講義を担当	6H/W
平成	21	12	～				株式会社○○ ○○研究所○○プロジェクトチーム	○○県○○市	主任研究員	○○に関する研究開発に従事	正規職員

民間企業等からの出向等で、採用日前の職を退職せずに東京大学に採用される場合は終期の年月を空欄にすること。

東大採用日以降の期間についても依頼されている非常勤職については、採用日前日の属する月を記載する。東大採用後は「兼業」となり、許可を要するため、採用手続きと同時に兼業の手続きを行い、許可されてから兼業を行うこと。兼業手続きの詳細は採用事務担当者へ確認すること。

本履歴書記載内容に相違ありません。

◎注意事項

記入に当たっては、「履歴書記入要領」をよく読んでください。

この青丸部分は印刷後、直筆で記入すること。

署名